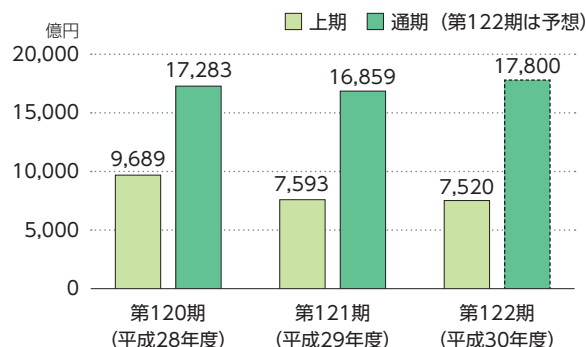


連結業績の概況（当上期）

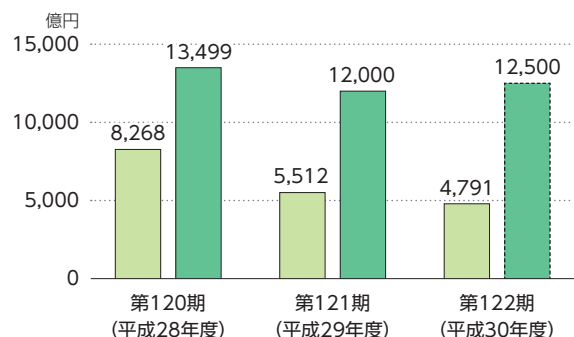
建設事業受注高は、海外関係会社の受注高が増加したものの、大型工事の成約が少なく当社の受注高が減少したことから、全体では前年同期比1.0%減の7,520億円となりました。なお、当社の受注高は、開発事業等を含めて同13.1%減の4,791億円となりました。

■ 建設事業受注高 **7,520億円** (前年同期比1.0%減)



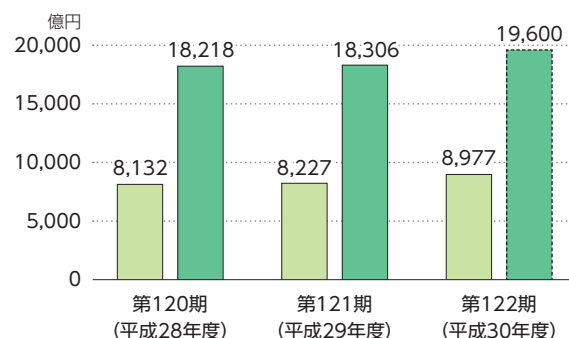
(注) 建設事業に係る受注高を表しており、開発事業等に係る受注高は含まない。

■ 受注高〔単体〕 **4,791億円** (前年同期比13.1%減)



売上高は、前年同期と概ね同水準で推移し、前年同期比9.1%増の8,977億円となりました。

■ 売上高 **8,977億円** (前年同期比9.1%増)



■ 主要受注工事

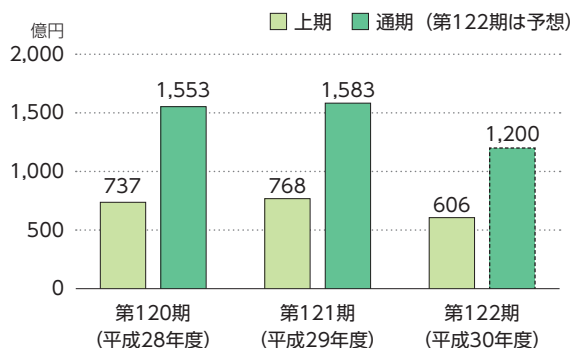
発注者	工事名称
国土交通省 東北地方整備局	成瀬ダム堤体打設工事 (第1期)
中華郵政股份有限公司	郵政物流センター新築工事 (台湾) ※
F J S 社	ウェスティン・アナハイム・リゾートホテル (米国) ※
西日本高速道路(株)	新名神高速道路 枚方工事
富士屋ホテル(株)	富士屋ホテル改修工事

(注) ※は海外現地法人の受注工事。その他は当社の受注工事。

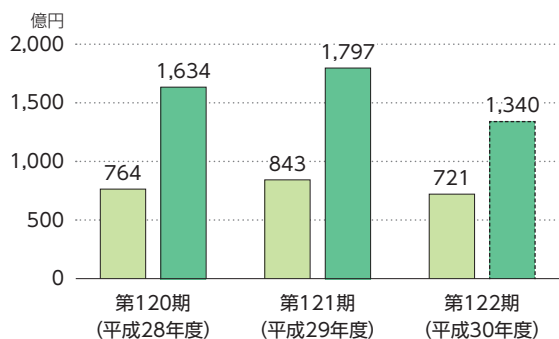
連結業績の概況（当上期）

当社の完成工事総利益率が低下し、売上総利益が減少したことを主因として、営業利益は前年同期比21.1%減の606億円、経常利益は同14.5%減の721億円となりました。

■ 営業利益 **606億円** (前年同期比21.1%減)

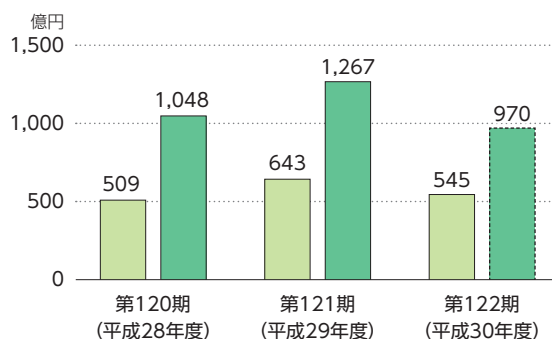


■ 経常利益 **721億円** (前年同期比14.5%減)

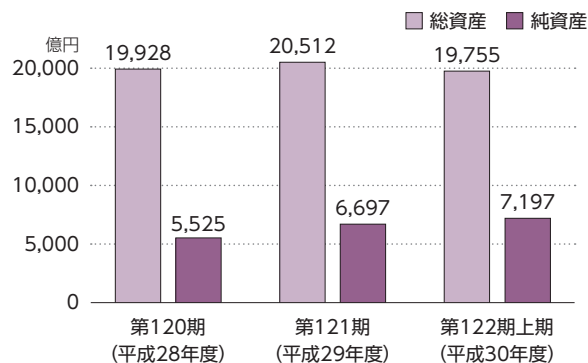


親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比15.3%減の545億円となりました。

■ 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 **545億円** (前年同期比15.3%減)



■ 財産の状況



当報告書に記載の業績予想は、平成30年11月13日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を平成30年度の期首から適用しており、平成29年度の財産の状況に係る数値については、当該会計基準を遡って適用した後の数値としております。